市議会だより　No.104

羽咋市

令和７年１月号（2025）

ようこそ議会へ

↑議会ホームページはコチラ

邑知潟で過ごす白鳥

令和６年第４回羽咋市議会定例会　発言順序と質疑・質問項目一覧

開議日：令和６年12月10日(火)

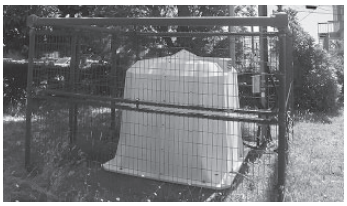
順序	発言議員	質問項目	質問形式
1	櫻井　英一	(1) 能登半島地震後の対応と検証について (2) 災害公営住宅について (3) 児童・生徒の通学の安全について (4) 放課後児童クラブの移設について (5) ふるさと納税について (6) カーボンニュートラル宣言について	一問一答
2	岡本　佐市	(1) 解体後について (2) 孤独死について	一括質問
3	浅野　俊二	(1) 国道415号羽咋バイパス周辺の農地規制について (2) 西北台小学校の統廃合の現状について (3) 地震の対応について (4) 公立羽咋病院について (5) 生徒の安全を守るための街灯設置について (6) 国会議員のイベント案内について (7) 定住促進・市営住宅の整備について	一括質問
4	松田　義人	(1) 学校規模適正化について (2) 教育環境について (3) 地域公共交通における現状と課題について (4) 妙成寺国宝指定に向けた取組みについて (5) 耐震改修促進計画の見直しについて	一問一答
5	川口　雅登	(1) 投票率の低下対策について (2) 羽咋市の人口の動きについて (3) 不登校の実態と家族支援について (4) 長曽川の左岸の公園復活について (5) 農地の集積・集約化と担い手農家の育成について (6) トキの放鳥とエサ場とネグラについて	一括質問
6	松永　幸則	(1) 羽咋市における経済の見通しと国宝化後の妙成寺を含めたインバウンド施策について (2) 今後の商工観光課の組織としての機能・役割・位置付けについて (3) 羽咋市に変革をもたらす優秀な職員の採用について (4) 羽咋高校、羽咋工業高校、羽松高校および羽咋・邑知中学校も含めた連携や協力について (5) 健康寿命を延伸するために運動・スポーツへの取り組みを促進することについて	一問一答
7	浜名　等	(1) 液状化地域の地形変化について (2) 認可地縁団体の現状について (3) 上下水道の課題について	一括質問

開議日：令和６年12月11日(水)

順序	発言議員	質問項目	質問形式
8	新田　義昭	(1) ２期目の政策等について (2) 除雪について	一括質問
9	丸田　一幹	(1) 病児保育について (2) 今冬に係わる対策について (3) 空き地対策について (4) コミュニティ・スクールについて (5) スポーツ・文化によるまちづくりの実現について	一括質問
10	備後　克則	(1) 頻発する地震対策について (2) 能登半島地震「復興計画」について (3) 危機管理体制の強化と対応について (4) 新年度予算編成について	一問一答

櫻井 英一 議員

正確な震度の観測は地震防災上不可欠



旭町の震度計

旭町の震度計の復旧

【質問】11月26日に最大震度５弱の揺れを観測した地震で、本市では旭町の震度計が能登半島地震以降復旧していなかったため、震度が発表されなかった。正確な震度情報は、地震災害が発生した際の被害の推定、迅速かつ適切な初動体制の確立など地震防災上不可欠である。なぜ復旧に約１年も時間がかかったのか。これまでの経緯を聞く。

【答弁】震度計の復旧については、防災科学技術研究所が旭町に設置した震度計であるが、能登半島地震の影響で傾きや周辺地盤の変形があったため、地震情報への活用を１月12日以降現在も停止している。震度計のカバー製作や移設場所の選定などに時間を要することから、復旧は令和７年２月になる。

自転車通学区域の冬期スクールバスの運行を

【質問】自転車通学区域に住んでいる中学生の保護者から「共働きなので積雪等の悪天候時は送迎できない。冬期の中学校の登下校時にスクールバスを運行してほしい」という要望がある。子育て支援策として、冬期にスクールバスの運行ができないか。

【答弁】自転車通学区域である粟ノ保、富永、邑知地区の一部は各中学校から４キロ以内にあることや、現在のスクールバスの運行体制では新たな路線設定が困難であるため、現段階では同地区に冬期スクールバスを運行することは難しい。しかしながら、毎年冬期に保護者の要望があることも重々承知しているので、スクールバスの検討、帰り方の工夫も考えたい。

岡本 佐市 議員

公費解体及び自費解体後の土地、建物

解体後の土地、建物の登記

登記の申請

【質問】建物を取り壊すと建物滅失登記が必要になる。また、その後、建物を新築すると表題登記と所有者の保存登記が必要であり、その費用の優遇制度があるのかを聞く。

【答弁】被災代替建物の所有権の保存または移転の登記については、災害が発生した日以後５年を経過するまでの期間は、一定の要件の下、登録免許税が免除される制度がある。免除には、登記申請の際に罹災証明書の添付が必要となる。

解体後の固定資産税軽減措置の延長を

【質問】公費解体後、土地が更地になると、固定資産税が６倍になる。羽咋市では軽減措置を継続する特例措置が２年間設けられているが、国内を調べると10年間のところもある。羽咋市もできないかを聞く。

【答弁】公費解体後の土地の固定資産税の特例措置については、地方税法349条の３の３の規定に基づき、令和６、７年度の２年間、住宅用地に対する固定資産税等の課税標準の特例を継続し、賦課することとなっている。

　特例の適用期間延長については、被災者の生活再建と負担軽減のため、国へ要望していきたいと考えている。

能登が一丸で頑張る時になぜ招待しないのか

LAKUNAはくい竣工式案内

浅野 俊二 議員

415号バイパス周辺農地規制を解除せよ

【質問】国道415号羽咋バイパスの周辺農地が規制されている。以前に国道159号バイパス延長路線上の会社が、移転先を国道415号羽咋バイパス周辺に求めていたが､農地規制があり断念した。その後、他の土地買収をしようとしたが、騒音問題が指摘され断念した。過去にも小松製作関係企業も羽咋から出ている。隣の宝達志水町は規制がなく、このままでは羽咋から出ていくことが懸念される。マルゲン設置にも時間がかかった。今後、発展が期待される地域であり早急に規制を解除せよ。

【答弁】農地を農地以外にするためには農地法に基づく転用申請が必要となる。この申請には、地権者や町会、農業団体等の同意、開発の許可申請等が必要で、基準を満たせば転用行為が許可される。羽咋市都市計画マスタープランにおいて、国道415号沿線は沿道商業、業務地区として土地利用を定めている。

なぜ近藤議員に案内状を出さなかったのか

【質問】LAKUNAはくいの竣工式があったが、近藤議員は案内がこなかったと言っている。これは意図的なのか。基準があるのか。今一番、能登が大変な時に、あれ好き、これ嫌いではなく、協力が必要でないのか。自民党はもう少数派だ。

【答弁】国会議員を含む来賓の招待には、基準の定めはなく､それぞれの式典やイベントにおいて、その都度決定している。

シビックプライドを胸に輝く羽咋を目指そう

統合が協議されている西北台小学校

松田 義人 議員

市教委が考える適正な学校教育とは

【質問】令和７年度は、「学校施設長寿命化計画」の見直し時期に当たる。子ども達への健やかな学びが提供できるよう、どのように学校運営をすべきと考えるのか、大局的な学校教育のあり方について問う。

【答弁】必要不可欠と考える学校教育のあり方は、①発達段階に応じた集団の中で切磋琢磨する経験に必要な学校規模を確保するため、複式学級を解消し、教育の質を向上させること。②共同的な学びや個別最適な学びを推進し、児童の学びを保障し、教育環境を充実させること。③コミュニケーション能力や創造力などの非認知能力、これから求められる力を身につけた児童を育成すること。と考えている。

地震規模や被害想定を見直せ

【質問】能登半島地震で被害を受けた建物が多くある中、現在どのような状況下にあるかということを再認識してもらうべきだ。邑知潟断層帯や森本・富樫断層帯では、将来の発生時期が早まる危険性が指摘されている。次の災害に備えるという視点でも、邑知潟断層帯の地震規模や被害想定など、至急見直しが必要と考えるが。

【答弁】耐震改修促進計画は、令和３年度から12年度の計画期間となっているが、耐震化をさらに促進するため、現状の耐震化率を把握するとともに、有効な施策について位置づけを行っていきたい。石川県も、令和７年度以降に計画の改定を予定しているため、本市も、県と連携し、計画の見直しを進めていきたい。

住みよい心豊かな ふるさとづくり

川口 雅登 議員

トキモデル地区看板（羽咋工業生徒制作）

不登校の実態と家族支援

【質問】文部科学省が10月31日に発表した調査結果で、小中学校の不登校児童生徒の数が34万6,482人と過去最多になった。羽咋市の不登校児童生徒の数と家族支援について聞く。

【答弁】本市の不登校の実態は11月末現在で小学生12人、中学生12人。本市の不登校児童生徒の割合は3.2％、全国は3.7％。家族支援では、担任や養護教諭が中心となり、保護者と情報連携を図り、必要に応じて保護者とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの相談の機会を設け、専門機関との連携を図っている。

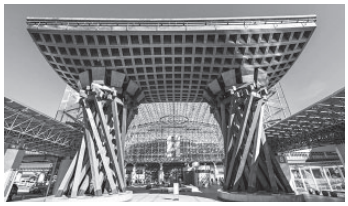
トキの放鳥とエサ場ネグラの確保

【質問】来年度、環境省はトキの放鳥地を１ヶ所決める。県では、トキの放鳥が能登半島の復興支援の目玉になるよう創造的復興プランを策定している。本市でもトキの放鳥に向けてエサ場の確保と安心できるネグラの整備を。

【答弁】本市でも石川県のトキ生息環境整備事業として南潟町にモデル地区の取り組み拡大を進めている。ネグラは眉丈山をはじめとした山林や屋敷林、寺社林を想定している。今年度、新たに中川町内では取り組み区域を設定する準備を進めている。今後は鹿島路地区、越路野地区における区域拡大に取り組み、トキの放鳥に向け、石川県や関係機関と連携していく。

羽咋市の未来を切り拓くために

松永 幸則 議員


旅行するべき世界の25か所に選ばれた金沢

金沢から羽咋にインバウンドの流れを

【質問】宿泊業、飲食業、小売業、サービス業などが生き残っていくためには、インバウンドに取り組むしかない。国宝化後の妙成寺、千里浜なぎさドライブウェイ、獅子舞などの祭りもインバウンドにフックする羽咋市のコンテンツだと考えるが、どうか。

【答弁】県や近隣自治体、各観光団体と連携をし、妙成寺や千里浜など外国人が好むコンテンツの情報発信や地域特産品の海外展開を推進するとともに、ＤＸを活用した文化財の多言語解説など受入れ体制の支援を進めていきたい。

各高校・中高連携し地域課題の探究と解決を

【質問】市の地域課題を各高校や中学校とも共有し、それらの課題解決に向けて市としても連携や協力をし、高校と中学校との連携をも促す方向について、①市長、②教育長それぞれの考えは。

【答弁】①地域を学ぶことは将来的な定住、Ｕターンにもつながり、小中学校に限らず、高校の探求授業においても積極的に協力・支援している。引き続き、市や地域が連携し、探求授業をサポートしていくことで、市内高校のさらなる魅力向上につなげていきたい。

②中高が一緒に連携して同じ地域課題を探求して解決していくということは、本当に新しいアプローチではないかと考える。生徒のふるさと教育、郷土愛の育成には大変大きな成果を上げるものではないかと考える。

液状化対策リスクと住民負担を示すべき

浜名　等 議員

液状化により湾曲した道路、沈む宅地

対策工法のリスクと住民負担を説明せよ

【質問】液状化対策の実施に当たっては、施工後に設備の維持管理費が発生すると聞く。また、地盤沈下も想定されるようである。液状化対策工法が持つリスクと住民負担について聞く。

【答弁】地下水位低下工法の場合、多少の地盤沈下を生じるリスクがあり、加えて将来にわたり発生するポンプ設備や地下埋設管の維持管理費の負担が課題である。現在、対策工法を検討している段階であり、総事業費や維持管理費の試算はできていないため、住民負担の有無や額を検討する段階に至っていない。今後、工法を示す際には、リスクなども踏まえた説明を行い、地元の皆様のご意見を伺いながら進めていく。

認可地縁団体（町会の法人格取得）の現状は

【質問】町会の会館や集会所、土地などの不動産で、実際の管理は町会で行われているが、登記上の所有者が羽咋市の土地や建物はないか。また、能登半島地震で被害を受けた土地や建物の復旧や修復は誰が行うのか。

【答弁】現在66町会のうち40町会が地縁団体の認可を受けている。認可地縁団体でない町会は、不動産登記ができないため、町会が所有、管理する会館や集会所の建物や土地で、羽咋市が所有者のものがある。これらの土地や建物が能登半島地震で被害を受けた場合には、管理する町会が復旧を行い、地域コミュニティ施設等再建支援補助金を利用することができる。

災害復興計画と除雪作業は万全か

新田 義昭 議員

段差が大きい彦助橋

２期目の政策等について聞く

【質問】地震災害復興とスポーツ・文化・若者定住等に力を注ぎ、輝く羽咋を目指すと言われた。①スポーツを通じたまちづくりと、老朽化した体育施設の整備。②国宝化を目指す妙成寺の発信。③災害公営住宅は何階建てで、何世帯の入居数で完成はいつ頃かをたずねる。

【答弁】①（仮称）スポーツ推進計画を基に、子どもから高齢者まで心と体の健康づくり、アスリートの発掘や育成、被災した体育施設の復旧と整備を進める。②妙成寺の最大の魅力は、国指定重要文化財が10棟ある。今後も、県と連携を密に文化庁へ価値と魅力を訴える。③災害公営住宅は申し込み世帯数が54世帯であったことから、３階建て以上で、エレベーターの設置、令和８年度の完成と入居を目指す。

除雪作業について聞く

【質問】除雪計画を業者と打ち合わせを行なった。従来の除雪と違って、能登半島地震の影響で市内の道路は、一部損壊や隆起が見られ、作業する業者は大変だ。２次災害も心配される。除雪する業者への対応をたずねる。

【答弁】能登半島地震では、市内全域の各所で揺れや液状化による道路の陥没や、下水道管の損壊やマンホールの隆起など、大きな被害が生じ、安全確保に努めるため、応急復旧工事を行い、順次、本復旧工事を進める。路面状況が違うので、除雪業者が事前に現場を確認し、支障個所は補修した。除雪業者に影響が出ないよう対策していく。

丸田 一幹 議員

子どもたちの安全安心をバックアップ

開設間近の病児保育施設

病児保育実施に向けた進捗を問う

【質問】現在の進捗及び開設の目途、スケジュールは。設計上、空調や汚物処理、動線など工夫されている点は。病児保育には、専門性あるスキルが求められるがどうか。

【答弁】新設する施設は、現在、既存設備の解体中で、令和７年中の開設を目指している。特徴は、複数の感染症が同時流行する事例が多いことから、２種類の感染症を受入れ可能とするため、部屋ごとに児童用トイレや空調を設置し、感染症の蔓延防止に配慮している。

また、日曜、祝日の保育を行う休日保育スペースの併設も特徴である。保育士の専門性について、病気の知識や病状の悪化に備え、専門的な研修でスキルアップを図っている。

コミュニティ・スクールについて聞く

【質問】全国でのコミュニティ・スクールの設置状況はどうか。

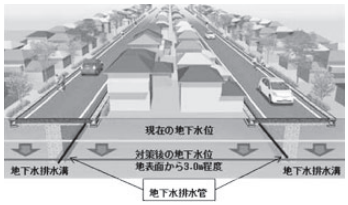
羽咋市で始めるコミュニティ・スクールは羽咋市独自版だが、法定版との違い、羽咋版を設けた理由、特徴は。

【答弁】令和６年５月現在、全国の公立小中学校の65％が導入している。法定版は学校運営に対しての承認や教職員の人事に対しても意見を行う権限が与えられる。羽咋版は、既に構築されている保護者や地域による学校の支援体制をさらに連携強化し、発展、組織したものである。

羽咋版コミュニティ・スクールの目的は、より一層の学校教育力の向上と地域の活性化、児童生徒の郷土愛の醸成や地域の担い手の育成である。

備後 克則 議員

液状化対策工事の見通しを示せ



国交省ガイドライン（地下水低下工法）

工法決定地域から説明会、令和８年度に着手

【質問】液状化対策については、内灘町やかほく市、金沢市において、対策工法や工期の見通しにかかる住民説明会が順次開かれている。

被災者は、自分が公共事業エリアに入るのか、また事業の内容、スケジュール見込みを一刻も早く知りたいと思っている。現状と今後の見通しを聞く。

【答弁】専門家による技術検討委員会において地下水位低下工法が有力であると示され、追加調査の指示を受けている。同委員会で工法が選定された地域から順次説明会を開く。事業化のエリアは、同委員会の総合的判断により設定をしていく。

見通しとしては、一定の地元合意が得られれば、令和７年度に実証実験や実施設計を進め、８年度からの工事着手を予定している。

羽咋沖で地震が頻発、危機管理監の配置急げ

【質問】震源地が奥能登から羽咋沖に拡大してきている。邑知潟北側（眉丈山系）の地震や邑知潟断層帯（石動山系）への誘発も懸念される。この場合の被害想定と対策を聞く。また、地震と大雨被害も常態化しており、危機管理監を配置すべきだ。

【答弁】邑知潟北側の地震は、市の地域防災計画ではマグニチュード7.0で全壊1,075棟、死者数21人、避難者5,947人を想定。県は現在、地震被害想定を見直しており地域防災計画に反映させる。これに合わせ市の地域防災計画にも反映させる。

危機管理監については、職名を問わず知識と経験を持つ外部人材を令和７年度から配置したい。

予算常任委員会報告

◎寺井 哲也　○松永 幸則　丸田 一幹　松田 義人
備後 克則　岡本 佐市　川口 雅登　酒井 一人
浜名 等　櫻井 英一　新田 義昭　山本 泰夫
浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第45号「令和６年度羽咋市一般会計補正予算(第９号)」など、議案10件、報告２件。

12月12日に当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案10件、報告２件については、全会一致をもって、原案のとおり、可決、承認した。

審査の過程での主な質疑･答弁は以下のとおり。

【質問】被災者支援窓口事業で、住まいに関する専門的な相談受付窓口を設置するとのことだが、どのような形態、体制になるのか。

【答弁】一級建築士または一級土木施工管理技士などが被災者の要望に応じて、自宅を訪問し、住宅の被災状況を確認し補助制度を含めた助言を行う。また、現在の住まいの支援窓口でも月に１、２回くらい相談窓口を設置する予定であり、広報はくい２月号に掲載し周知していく。

【質問】在宅支援型住宅リフォーム助成事業で、申請件数の増加に伴い100万円増額補正とのことだが、当初見込みに対し何件増えるのか。

【答弁】当初１件を見込んでいたが、これまでに３件の申請があり、決算として180万円ほどを見込んでいる。

【質問】能登半島地震による公共道路災害復旧事業は３億1,400万円、市単道路災害復旧事業は１億500万円という補正額であるが、主にどこの道路になるのか。

【答弁】公共道路災害復旧事業は、27か所あり、代表的なものとして邑知潟大橋、千路町、鹿島路町の北潟農免道路、その他市内各所で災害査定を受けた道路である。また、市単道路災害復旧事業は、77か所あり、対象箇所は公共道路災害復旧事業に満たない小規模工事である。

その他の質疑としては、放課後児童健全育成事業、起業家支援事業、公民館運営事業、地域総合整備資金貸付事業、水道事業負担金についての質疑・答弁がされた。

付託案件以外の質問としては、市役所からの委託を騙る訪問販売に対し注意喚起を促す予算についての質問・答弁がされた。

総務民生常任委員会報告

◎川口 雅登　○丸田 一幹　備後 克則　酒井 一人
松永 幸則　山本 泰夫

当委員会に付託された案件は、議案第56号「一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について」などの議案４件、報告２件。

12月13日に当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案４件、報告２件については、全会一致をもって、原案のとおり、可決、承認した。

審査の過程での主な質疑・答弁は以下のとおり。

【質問】近年の会計年度任用職員の募集、応募状況についてと募集にあたってはパンフレット等の工夫を講じているか。

【答弁】一般事務補助については相当数の応募があるが、保健師など専門的なものになるとなかなか応募者が集まらない。募集時の工夫は必要であり、検討していきたい。

陳情２件については、聞き置いた。

付託案件以外の質問としては、危機管理監の採用について、災害ボランティアセンターについて、ハラスメント調査の結果についてなどの質問・答弁がされた。

産業文教常任委員会報告

◎浜名　等　○松田 義人　岡本 佐市　寺井 哲也
櫻井 英一　新田 義昭　浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第50号「市道路線の認定について」の議案１件。

12月13日に当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案１件については、全会一致をもって、原案のとおり、可決した。

審査の過程での主な質疑・答弁は以下のとおり。

【質問】市道路線の認定について、金丸出町地内にある長曽会館付近の、舗装の剥がれが目立つ路線のことか。

【答弁】対象の路線は、町民が頻繁に利用し、交通量が多く、市道の認定基準を満たすことから、認定するものである。

付託案件以外の質問としては、震度計の設置について、ふるさと納税について、耐震診断の利用促進について、妙成寺国宝化についてなどの質問・答弁がされた。

決算特別委員会報告

◎松永 幸則　○松田 義人　丸田 一幹　備後 克則
岡本 佐市　川口 雅登

当委員会に付託された案件は、「令和５年度羽咋市一般会計歳入歳出決算」をはじめ、４つの特別会計歳入歳出決算、２つの企業会計決算の合計７件。

９月18日を初日とし、計３回にわたり委員会を開催し、予算が適正かつ効率的、効果的に執行されたか、また、市民福祉の向上に寄与し、行政効果が十分発揮されたかを主眼に、慎重に審査した。

その結果、当委員会に付託された認定７件については、全会一致をもって、原案のとおり、認定した。

審査の過程での主な質疑・答弁は以下のとおり。

【質問】令和６年能登半島地震による漏水の影響で水道の有収率が減少したが、今現在は、修繕工事が完了し、有収率は回復しているのか。

【答弁】漏水修繕については大部分が完了し、有収率は回復している。また、令和６年度は東部の余喜地区、本江地区で漏水調査を実施し、１時間あたり約３トンの漏水を発見し、有収率の改善に繋がっている。

【質問】外国人住民が増加しているが、その理由と、今後の見通しは。

【答弁】外国人住民の移住目的は、主に労働や学習、研修であり、特に東南アジアからの移住者が多く、今後も増加する可能性がある。本市でも日本語教室などの支援を継続し、外国の方々が地域に馴染めるコミュニティ作りが重要だと考えている。

【質問】羽咋市都市公園災害復旧にかかる資料作成業務委託について、市職員では対応が難しかったのか。

【答弁】今回の地震では、公園だけでなく道路や橋梁、河川にも甚大な被害があった。そのため、土木職が不足し、災害査定の資料作成を外部に委託した。今後は、公園の土木業務に詳しい応援職員が新たに着任する予定である。

その他の質疑としては、被災者支援窓口運営事業について、コスモアイル羽咋等の公共施設の利用者数の増加について、国民健康保険特別会計の基金繰入金についてなどの質疑・答弁がされた。

令和６年 第４回定例会 12月議会 議決一覧

令和６年度羽咋市一般会計補正予算など、市長提出議案15件、報告４件、令和５年度羽咋市一般会計歳入歳出決算など認定７件、追加提出された市長提出諮問２件を原案のとおり可決、承認、認定、適任とした。

■全会一致で議決された議案

議案番号	議案名	議決結果
市長提出議案第45号	令和６年度羽咋市一般会計補正予算（第９号）	可　決
市長提出議案第46号	令和６年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	可　決
市長提出議案第47号	令和６年度羽咋市介護保険特別会計補正予算（第２号）	可　決
市長提出議案第48号	令和６年度羽咋市水道事業会計補正予算（第２号）	可　決
市長提出議案第49号	令和６年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第２号）	可　決
市長提出議案第50号	市道路線の認定について	可　決
市長提出議案第51号	令和６年度羽咋市一般会計補正予算（第10号）	可　決
市長提出議案第52号	令和６年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	可　決
市長提出議案第53号	令和６年度羽咋市介護保険特別会計補正予算（第３号）	可　決
市長提出議案第54号	令和６年度羽咋市水道事業会計補正予算（第３号）	可　決
市長提出議案第55号	令和６年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第３号）	可　決
市長提出議案第56号	一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可　決
市長提出議案第57号	羽咋市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可　決
市長提出議案第58号	常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可　決
市長提出議案第59号	議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について	可　決
市長提出報告第37号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承　認
市長提出報告第38号	令和６年度羽咋市一般会計補正予算（第７号）の専決処分の報告について	承　認
市長提出報告第39号	羽咋市医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承　認
市長提出報告第40号	令和６年度羽咋市一般会計補正予算（第８号）の専決処分の報告について	承　認
市長提出認定第１号	令和５年度羽咋市一般会計歳入歳出決算の認定について	認　定
市長提出認定第２号	令和５年度羽咋市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
市長提出認定第３号	令和５年度羽咋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
市長提出認定第４号	令和５年度羽咋市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
市長提出認定第５号	令和５年度羽咋市千里浜財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
市長提出認定第６号	令和５年度羽咋市水道事業会計決算の認定について	認　定
市長提出認定第７号	令和５年度羽咋市下水道事業会計決算の認定について	認　定
市長提出諮問第１号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適　任
市長提出諮問第２号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適　任

副議長就任のあいさつ

川口　雅登 副議長

このたび、令和６年第４回羽咋市議会定例会におきまして、指名推選により、第51代の副議長の職に就くことになりました。

職責の重さに身の引き締まる思いです。

令和６年能登半島地震から１年が過ぎ、一刻も早い復旧・復興が市民の願いであります。将来に向かって夢と希望をもって安心して住めるまちづくりに努めます。

また、妙成寺の国宝化やトキ・コウノトリの舞う心豊かな羽咋を目指し、一生懸命取り組みます。

これからもご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

総務民生常任委員会・産業文教常任委員会　行政視察

～熊本地震からの復旧・復興を学ぶ～

令和６年10月８日～ 10月10日、総務民生常任委員会と産業文教常任委員会と合同で、熊本地震で甚大な被害を受けた熊本県上益城郡益城町の役場において、熊本地震からの復旧・復興の一連の取り組みを学びました。

10人以上の担当職員の方々から、被災者支援および仮設住宅について、公費解体について、災害公営住宅について、復興基金を活用した事業について、防災備品や資機材についてなどの詳細な説明を受け、その後、活発な質疑応答が行われました。

他に、各地域の災害公営住宅、熊本地震震災ミュージアムＫＩＯＫＵ、復興まちづくりセンターにじいろなども視察しました。

羽咋市の一日も早い復旧・復興に向けて、議員・執行部共に一丸となり、得られた知見を活かして取り組んでいきます。

益城町役場での座学

熊本地震震災ミュージアムKIOKU

議会活動報告

10月14日(月)	第58回羽咋市民駅伝祭	(議長出席)	羽咋市
10月21日(月)	議会全員協議会		
	(1) 羽咋市の復旧・復興について		
	(2) 令和６年度羽咋市一般会計補正予算（第７号）の専決について		
	(3) 変動型最低制限価格制度の導入について		
	(4) 令和６年度羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証・評価結果について		
	(5) 小規模多機能型居宅介護施設設置・運営事業者の決定について		
10月28日(月)	北信越市議会議長会評議員会	(議長出席)	福井市
11月２日(土)	藤岡市市政施行70周年記念式典	(議長出席)	藤岡市
11月３日(日)	羽咋市顕彰式	(議長、全議員出席)	羽咋市
	第65回優良従業員表彰式	(議長出席)	羽咋市
11月５日(火)	石川県市議会議長会知事要望	(正副議長出席)	金沢市
11月６日(水)	羽咋市社会福祉大会	(副議長、総務民生常任委員長出席)	羽咋市
	全国市議会議長会第118回評議員会	(議長出席)	東京都
11月９日(土)	羽咋市総合防災訓練	(正副議長、全議員出席)	羽咋市
11月12日(火)	議会全員協議会		
	(1) 羽咋市の復旧・復興について		
	(2) 新たな宅地開発について		
	(3) 邑知中学校柔道部の部活動の地域移行（試行）について		
	(4) 羽咋版コミュニティ・スクールの導入について		
	(5) 放課後児童クラブの粟ノ保小学校、瑞穂小学校内への移設について		
11月18日(月)～19日(火)			
	国道159号羽咋道路整備促進期成同盟会要望活動		
	千里浜海岸保全・利活用推進協議会要望活動		
	河北・なぎさ千里浜海岸保全期成同盟会要望活動	(議長出席)	新潟県、東京都
11月26日(火)	のと里山空港活性化研修会	(副議長出席)	穴水町

＼市民の声／を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆さまの声を募集しています。

感想などは下記までお寄せください。

〒925-8501　羽咋市旭町ア200
羽咋市議会事務局
電話 0767-22-7160　FAX 0767-22-7210
Ｅメール gikai@city.hakui.lg.jp

■傍聴してみませんか

市庁舎５階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。議会定例会は３月、６月、９月、12月に開催しています。

一度、傍聴してみませんか。

■YouTube（ユーチューブ）でも視聴できます

能越ケーブルネットでの議会本会議のライブ配信（生中継）に加え、YouTubeでは、議会本会議・常任委員会のライブ配信（生中継）・録画配信をご覧いただけます。

※配信される映像及び音声は本市議会の公式記録ではありません。

【羽咋市議会YouTubeチャンネル】

※携帯電話等で視聴する場合の通信料は視聴者のご負担となることもあります。

編集後記

多くの議員が、復旧・復興や災害対応について議論を交わしました。

能登半島地震から１年。死因の約４割が倒壊した建物の下敷きになる「圧死」でした。

地震に対する備えは十分でしょうか。

被災住宅（一部損壊以上）、特に、昭和56年５月31日以前に着工した住宅にお住まいの方は、是非とも「耐震診断」を受けてください。15万円まで公費負担する制度があります。

リスクを少しでも減らすことが、自助につながります。　（松田　義人）

羽咋市 耐震診断　検索

市議会だより編集委員会

委員長	松田　義人
副委員長	丸田　一幹
委　員	備後　克則
	川口　雅登
	松永　幸則

市議会だより　No.104　令和７年１月号（2025）
発行者／石川県羽咋市議会
編集者／市議会だより編集委員会
〒925-8501　石川県羽咋市旭町ア200番地
TEL 0767-22-7160　FAX 0767-22-7210　http://www.city.hakui.ishikawa.jp